

東京社保協第7回常任幹事会・資料集

2017年10月26日(木) 東京労働会館5階地評会議室



- 1～4 中央社保協第2回運営委員会報告
- 5 中央社保協ニュース
- 6 介護をよくする東京の会第8回事務局会議報告
- 7～9 第28回東京高齢者のつどい報告
- 10 介護・認知症なんでも電話相談チラシ
- 11 遺伝子組み換え食品を考える学習会チラシ



2017年度中央社保協第2回運営委員会報告

日時 2017年10月4日(水)15時～17時
会場 参議院議員会館102会議室

I、山口事務局長からこの間の取り組み報告を受け確認した。

- 9月 13日 第1回運営委員会
14日 社会保障拡充を求める「4」の日宣伝行動(巣鴨駅前)
参加 東京土建17、東京民医連2、東京社保協4、
保団連2、医労連2、自治労連1、全教1、
中央社保協1 計30 署名31筆 相談1件
15日 小川先生偲ぶ会・発送作業
20日 小川先生偲ぶ会・会場下見、打ち合わせ
10・19国民集会実行委員会
22日 消費税廃止各界連・社会保障拡充共同宣伝行動(新宿西口)
参加 31 署名33筆
生活保護共同行動打ち合わせ
10・19国民集会実行委員会
26日 第2回代表委員会
27日 中国ブロック会議
九州ブロック会議
28日 国会開会日行動
29日 生活保護改悪反対・厚労省前行動(全生連)
30日 滞納処分対策全国会議事務局会議
10月 1日 東京社保協「無料 国保・医療なんでも電話相談会～滞納・差し押さえ110番～」
クレサラ被連協代表者会議
2日 四国ブロック会議
4日 介護・厚労省交渉
国保・介護障害者部会
第2回運営委員会

II、情勢の特徴について報告を受け討議で深めた。～新聞記事等参照

(1) 国会解散、総選挙

◆安倍晋三首相が2020年施行と期限を切って9条改憲を目指すもと、今回の総選挙では9条改憲が総選挙の大争点です。自民、維新は公約に改憲を明記。小池百合子都知事が代表を務める「希望の党」も9条を含めた改憲を打ち出すなかで、改憲への姿勢が「自民+補完勢力」VS「市民+野党」の対決軸となっています。安倍晋三首相が2020年施行と期限を切って9条改憲を目指すもと、今回の総選挙では9条改憲が総選挙の大争点です。自民、維新は公約に改憲を明記。小池百合子都知事が代表を務める「希望の党」も9条を

含めた改憲を打ち出すなかで、改憲への姿勢が「自民+補完勢力」VS「市民+野党」の対決軸となっています。(赤旗 10月3日付け)

| ◆各党の憲法に対する態度 | |
|--------------|---|
| 日本共産党 | 安倍改憲反対。安保法制＝戦争法を廃止し立憲主義を回復する。現行憲法の前文を含む全条項をまもる。 |
| 自民党 | 9条1項、2項を残して自衛隊を憲法に明記(安倍首相、5月3日) |
| 希望の党 | 9条を含め改憲論議から逃げない。一院制(参院廃止)の実現など |
| 公明党 | 9条について1項、2項を堅持した上で、自衛隊の存在の明記など「加憲」の論議の対象に |
| 日本維新の会 | 国際情勢の変化に対応し、国民の生命・財産を守るための9条改正(2017維新八策) |
| 社民党 | 憲法9条改悪に反対。活憲 |

◆社会保障費財源、消費税使途変更

(2) 生活保護基準見直し作業進む

Ⅲ、以下の課題についての提案を受け、協議し確認した。

(1) 「社会保障制度の拡充を求める請願」署名について(署名案参照)

- ①憲法9条署名と区別し、署名名称については「社会保障制度の拡充を求める請願」署名。(略称は25条署名)
- ②署名は、通年署名として2018年中1年間とりくみ、2019年通常国会<6月頃>に提出する。
- ③署名目標については、目標設定を含め検討する。
- ④署名は、「宣伝・対話」運動としての位置づけを強化する。
地域・職場で積極的に訴え、社会保障制度拡充の世論構築を目指す。

※「社会保障制度の拡充を求める請願」署名を社保協署名とし、あわせて介護署名、年金署名、保育署名、生活保護署名(検討中)、9条署名を共同して各団体、地域で位置付けます。(別途資料参照)

※宣伝行動でのパネルに署名チラシの図が活用できるように検討する。

(2) 介護改善の取り組み⇒介護障害者部会議題参照

(3) 医療・国保改善の取り組み⇒国保部会議題参照

(4) 生活保護の取り組み

①全生連「健康で文化的な生活」実態調査⇒アンケート案作成10月に延期

②「いのちの砦裁判全国アクション」の呼びかけによる「院内集会」の開催

日時 11月15日(水) 13時-16時(予定)

場所 議員会館会議室(参議院講堂を予定)

目的 通常国会で予定される生活保護基準引き下げに反対し、国のねらいを明らかにし、憲法25条に基づく社会保障の実現を目指す集会へ

内容 学習講演、基調報告、現場からの声、アピール採択

③いのちのとりで裁判全国アクション

「生活保護制度の充実を求める緊急署名」の取り組みを検討中(別紙)

④生活保護基準部会宣伝行動(主催・全生連)

基準部会ごとに宣伝行動を計画する

次回・10月12日(木) 9時半～ 厚生労働省前

(5) 年金の取り組み

署名推進とともに、年金フェスタを計画

・日時 10月20日(金)

12時～ 文化行事・中央集会 14時15分～銀座パレード

・場所 日比谷野外音楽堂

※選挙中のため各地の取り組みについては、各地で判断

IV、以下の当面する取り組みを確認し、参加をよびかけた。

(1) 当面する行動日程

①中央段階での集会や国会行動の検討

⇒三者(社保協、国民大運動、安保破棄中央実行委)の国会行動は総選挙により中止。国会の動向で改めて連絡する。

10月 20日(金) 12:00～14:15 年金フェスタ 於:日比谷野外音楽堂
14:15～15:00 銀座パレード

22日(日) 13:00～16:30 「安全・安心の介護を！」2017年全国学習交流集会 於:林野会館

11月 3日(金・祝) 憲法闘争10万人国会行動

8日(水) 11・8秋闘中央行動

10日(金) 16:00～17:00 介護宣伝行動 於:新橋駅

11日(土) 10:00～18:00 「介護110番」於:東京労働会館

14日(火) 12:00～13:00 巣鴨駅宣伝

15日(水) 生活保護改悪反対院内集会(時間・場所未定)

23日(木・祝) 10:00～16:30 第8回地域医療を守る全国運動交流

集会 於：東京ビッグサイトTFTホール

※以下の行動・集会は中止です。

10月14日(土) 11:00～13:00 「4」の日宣伝 巣鴨地藏通り商店街
10月19日(木)「憲法 いのち 社会保障まもる10・19国民集会」

(2)「権利としての福祉を守る」共同行動実行委員会

シンポジウム・院内集会(5・18集会実行委員会企画)

日時 12月1日(金) 13:00～16:00(予定)

会場 国会内会議室予定

(3) 憲法改悪阻止の総がかり行動実行委員会(憲法共同センター) 当面の日程

①翁長知事の工事差し止め訴訟支援! オスプレイ配備撤回! 辺野古新基地建設を許さない10・4集会

日時: 10月4日(水) 18:30～19:30 終了後銀座デモ

場所: 日比谷野外音楽堂

共催: 「止めよう! 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

②安倍政権NO! 1005銀座大行進

日時: 10月5日(木) 18:30～19:10 集会 終了後銀座デモ

場所: 日比谷野外音楽堂

主催: 安倍政権NO実行委員会

③10月の「19日行動」

日時: 10月19日(木) 18:30～19:30

場所: 衆議院第2議員会館前

主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

V、団体報告(略)

次回は、11月1日(水) 参議院議員会館B106会議室(地下会議室)

10時30分～ 国保・厚労省交渉

13時～ 第3回運営委員会

16時30分 終了

「介護をよくする東京の会」第8期 第8回事務局会議報告

日時：10月2日（月）14：00～ 会場：東京自治労連会議室

出席：久保（地評）、中村（医労連）、及川（民医連）、相川（社保協）、森永（全国ヘルパー）、西銘（医労連）横田（福保労）、岡村（年金者組合）、杉山（東京自治労連） 下線欠席

<報告事項>

1、前回（第8期第7回）事務局会議報告を添付した

◎10月4日に開催された、中央社保協の介護問題での厚労省要請についての報告を確認した。2、各団体等の報告

（民医連）新たに取り組む「介護署名」について20万筆目標に、年内に集約していくことと。あわせて、介護報酬引き上げ、処遇改善、制度改善の団体署名に取り組む。11月13日に、介護職部会として中野駅で署名宣伝行動を実施する。

（中村）東部地域の各自治体に「介護報酬のプラス改定」を求める陳情を行ったことが報告された。足立社保協として、総合事業の進捗状況について、事業所アンケートを活用して区と懇談を実施。

（社保協）8月30日に実施した介護保険の制度改正についての厚労省レクチャー結果についての報告を行った。

2、協議事項

1) 介護フォーラム（10月8日（日）午後にラパスホール）について、報告者、報告内容、参加予定などの最終確認をおこなった。

2) 介護事業所アンケート結果について、都の記者クラブで記者会見を、11月6日の週に行うことを確認した。

3) 11月1日に行われる、都民要求の対都要請への参加及び発言などについて確認した

4) 今後の日程を確認した。

11月11日（土） 介護・認知症なんでも相談会 10時～18時（東京労働会館）

11月14日（火） 巣鴨駅宣伝行動 12時～13時

次回日程：10月24日（火）13：00～ 東京労働会館6階応接室（予定）

第 28 回 東京高齢者のつどい報告（案）

○2017年9月22日（金） 午前10時～12時30分 東京土建杉並支部ホールで3つの分科会、セッション杉並で東京土建の分科会を開催した。

22日午後2時～4時30分に杉並公会堂大ホールで全体会を開催した。

○実行委員長 吉田一男氏（練馬区高齢期運動連絡会会長）

○つどいのスローガンは

ひとりぼっちの高齢者をなくそう！ 若者と高齢者は手をつなごう！ いまこそ憲法を活かし、沖縄と連帯したたたかいを！

○全体会と4つの分科会を開催した。

全体会は800人、4つの分科会は300人、年金者組合、東京土建、医療生協、健康友の会など合計で1,100人の参加を得て、成功させることができた。

○集会の目的、目標は達成されたか？

全体会は、日野講演で社会保障の後退・削減をなぜ政府・財界が一体となって推し進めてきたのか、その基本に財界の中で新自由主義の側が勝利した1995年の「舞浜会議」があること、社会保障は運動のなかで前進し、成果が生み出されたものであり、新自由主義の流れを押し戻す国民運動がいま野党共闘、市民運動により前進しつつあることが報告された。

人口の1/4を占める高齢者が主権者として振る舞うことが必要である。戦わなければ進まない、改善しないなどの感想が寄せられた。とても分かりやすく、運動の展望を示され、勇気を与えられた講演だったと感謝の声が寄せられた。

文化行事は高齢者のコーラスと沖縄舞踊、エイサー、松平晃氏のトランペット独奏でいずれも好評だった。

分科会：4つの分科会を開催した。いずれも充実した内容になった。いずれも高齢者と高齢期運動の重要課題に挑戦するものだった。

第1分科会「高齢者のねがいと要求を実現する地域連絡会づくり～その活動と課題」内容、成果、課題

参加者数34名。発言者 文京・西多摩・葛飾

フロア発言 国分寺・西東京・渋谷・新宿・東久留米・足立・練馬・板橋

発言のおもなもの

- ①文京 30回大会の実行委員会は今も継続している。沖縄大会へは10名が参加する。地域連絡会は作ろうと決めたが、未だ進んでいない。
- ②西多摩 毎年自治体要請行動を行っている。続けていると自治体の姿もみえてくる。実行委員会を解散するとき、地域連絡会の結成を確認したが、未だできていない。
- ③葛飾老後を豊かにする会から、個人が主体となる組織として「葛飾高齢者懇談会」にした。30回大会には、105人が参加、今はこの大会参加者が運動の中心になっている。9月14日に、高齢期要求を区に提出した。

- ④国分寺 毎月事務局会議を開いている。後期高齢者医療保険問題で日の出町に視察に行った。
- ⑤渋谷 準備会から連絡会になった。毎月集まっている。
- ⑥新宿 コミュニティーバス問題、交通に対する要求は強い。
- ⑦東久留米 自治体交渉は、社保協でやっている。去年は大会を契機に高齢者の問題、暮らしを考え
る取り組みをやったが、大会が終わって解散した。いま、東京のつどい、沖縄大会で実行委員会を
作っている。実行委員会で市内4カ所で食事会をやろうと計画している。高齢者にとって防災の問題
も重要だ。核になる場所が必要になっている。
- ⑧足立 高齢者にとって難聴問題は大変だ。補聴器20万円はあたりまえ。
- ⑨練馬 担い手が高齢化して組織化が進んでいない。高齢期連絡会名前はあっても実態が見えない。
これでいいのか。地域では見守りを重視している。政教の機関誌を配達する中でこれをやっている。
地域でいろんな形で取り組まれている。もっと経験交流を深めて展望を切り開こう。

第2分科会「ひとりぼっちにしない、させない～実践の交流と明日からできるとりくみ」

80名の参加者。医療生協、友の会組織、NPO、年金者組合サークル活動参加者等多彩。すでに居場所づくりを始めている方より、今後始めたいとの方の参加者が多かった。最初にほくと医療生協のカフェ、西部医療生協からは地域の空き家を利用したたまり場づくり、三多摩健康友の会の居場所づくりについて報告がされ、それぞれについて質問が出された。後半は、最初に東京ボランティアセンターの熊谷さんより東京の各地で取組まれている居場所づくりの実例が紹介された。その後、フロアから各地でとりくんでいる経験について報告が数多く出された。全体には経験交流報告が多くなり、取り組みに当たっての問題点や課題についてもう少し深めることができればよかつたと感じます。

第3分科会「若者、現役は高齢者に何を思うか～世代間連帯と日本の再生」

若者、現役と高齢者の連帯をどうつくるか、挑戦的な課題だったが、若手経済学者（山形大・戸室健作准教授）から若者の実態をデータで、若い2人の労働運動リーダーの発言で率直に論議でき、今後の論議の出発点に立つことができた。高齢期だけが厳しい生活状態に置かれているのではなく、若者から現役、高齢者まで「世代間公平」という名目で分断されているという実態が明らかにされた。

第4分科会 東京土建分科会

講師 池上洋通氏（自治体問題研究所主任研究員）

3つの分科会の定員が少なくてあぶれる恐れがあることから、東京土建からの意見を受け入れて急遽第4分科会を設けました。会場はセッション杉並の集会室。「東京土建分科会」と銘打って学習講座とし、地方自治研究家の池上洋通さんに講演してもらいました。題して「共に生きる社会をめざして一憲法70年を考える」。池上さんは豊富な資料を使いながらも、ページや項目をひとつひとつ示しながら分かりやすく、事実に基づいて、今日にいたる時代の流れや日本国憲法に貫かれた精神と国際的意義を解き明かしました。会場は時には笑いに包まれながらも講師の話しにじっとききいり、あっという間の95分でした。

〈参加者の感想〉

- ・第30回の日本高齢者大会を開いた翌年に、今回のつどいを成功させることができ、東京の高齢期運動も力をつけたということだろう。
- ・現役、若者との論議の機会、連帯の機会をさらに増やし、日本再生のバネにできればいい。
- ・いのちとくらしをまもる、社会保障を改善させるうえでの市民運動の役割を知ることができた。
- ・初めて参加したが、元気が出た。
- ・初めて社会保障の原点、歴史を学んだ。
- ・基調報告で高齢者の厳しい実態にふれた方がいいと思う。
- ・国保の問題についても触れてほしかった。
- ・わたしたちの行動、活動が社会を変えられる、という確信を深めた。

〈運営等での課題〉

- ・分科会と全体会が別会場になったが、関係者と実行委員会の努力で大過なく終えることができた。

11月11日は、「いい介護の日」

介護・認知症 なんでも

無料 電話相談



高齢化がすすむなか、お金の心配なく安心して介護サービスを受けたい、すべての高齢者・家族の願いです。

しかし現状は介護職場の人手不足や、「負担が重くサービスを継続できない」「特養に入れない」など悩みは深刻です。

その悩みに答える「介護・認知症なんでも電話相談」を行います。介護の専門家、「認知症の人と家族の会」の相談員がお答えします。

お気軽にお電話ください！

とき

2017年

11月11日(土) 10時~18時

でんわ

0120-110458

中央社保協 中央社会保障推進協議会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階

TEL.03-5808-5344 FAX.03-5808-5345

●メールでのご相談は E-mail:k25@shahokyo.jp

公益社団法人 認知症の人と家族の会

〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下ル 京都社会福祉会館内

TEL.075-811-8195 FAX.075-811-8188

●メールでのご相談は E-mail:office@alzheimer.or.jp

東京社保協 東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館6階

TEL.03-5395-3165 FAX.03-3946-6823

●メールでのご相談は E-mail:syaho001@chihyo.jp

取り扱い団体

食の安全 遺伝子組み換え食品を考える

～地域ではぐくまれてきた農作物がなくなってしまう?～



◆ 講師 あまがさ けいすけ
天竺 啓祐 氏

(ジャーナリスト / 食と農から生物多様性を考える市民ネット共同代表)



日本で発売されている食用油のほとんどが遺伝子組み換え作物から作られている事をご存知ですか。長年、食と農から生物多様性の大切さを訴えてきた天竺啓祐氏から、遺伝子組み換え食品を巡る問題について語っていただきます。

◆ 日時 2017年 **12月2日(土) 16:00 ~ 18:00**

◆ 会場 東京保険医協会セミナールーム (新宿駅南口より徒歩10分)

※甲州街道・初台に向かって右沿い。1Fは「酒屋やまや」

◆ 定員 80人 (定員になり次第締め切ります)

参加費
無料

【12/2 申込書】 公害環境対策部行き >>> FAX: 03-5339-3449

※この FAX の到着をもって受付受理といたします。改めて確認の連絡はしておりませんのでご了承ください。

| | | | |
|-------|--|------|--|
| 参加者氏名 | | ご職業 | |
| ご住所 | | ご連絡先 | |

【お問合せ先】 東京保険医協会 公害環境対策部 事務局担当：小川、岩崎、市川

〒160-0023 新宿区西新宿 3-2-7KDX 新宿ビル4F TEL: 03-5339-3601 FAX: 03-5339-3449

■ プチコラム

12 府県で遺伝子組み換え(GM)ナタネが自生

“遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン”が呼びかけている GM ナタネ自生全国調査は 12 回目。2016 年は 37 都道府県から報告があった。

各地の港周辺や幹線道路沿いなどで自生するナタネ 901 検体中、12 府県・78 検体がモンサント社の除草剤・ランドアップなどに耐性のある GM ナタネだった。港のある府県がほとんどだが、青森ではナタネの陸揚げをしていない八戸港周辺や、海なし県の埼玉や山梨でも GM ナタネが確認された(同キャンペーンHPから)。

自生するナタネ 901 検体中、モンサント社の除草剤・ランドアップなどに耐性のある GM ナタネが 12 府県で 78 検体見つかった。

| | 検体数 | GM ナタネ |
|-----|-----|--------|
| 青森 | 14 | 1 |
| 茨城 | 41 | 6 |
| 埼玉 | 47 | 1 |
| 千葉 | 53 | 16 |
| 神奈川 | 36 | 4 |
| 山梨 | 19 | 2 |
| 静岡 | 28 | 3 |
| 愛知 | 15 | 3 |
| 京都 | 31 | 1 |
| 兵庫 | 40 | 12 |
| 岡山 | 15 | 4 |
| 福岡 | 67 | 25 |
| 計 | 901 | 78 |